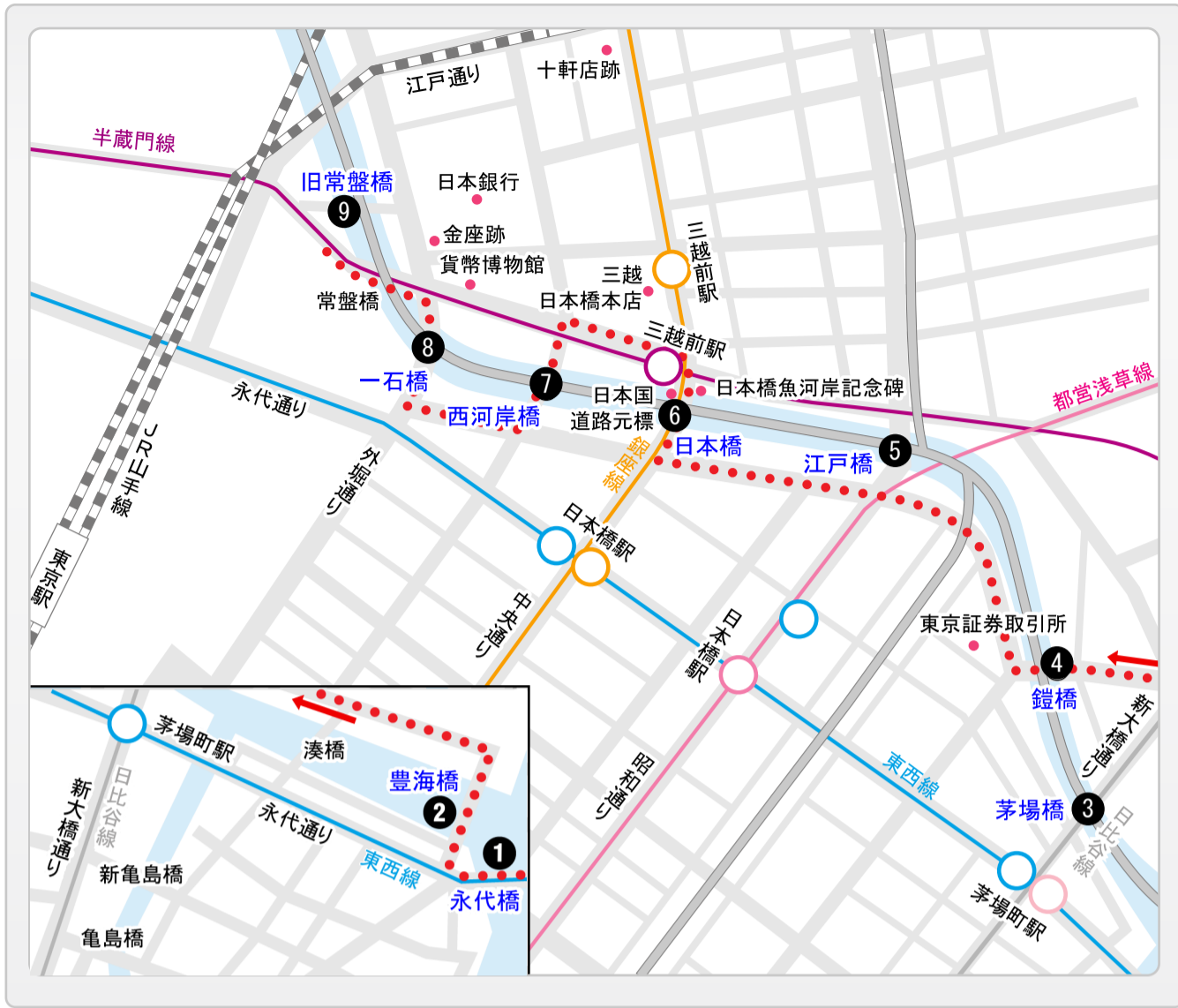


山の手の坂、下町の橋日本橋川の流域にそって隅田川をめざす橋めぐり。



① 永代橋

元禄11年(1698)幕命によって現在地より150m 上流に架けられた。江戸時代は眺望、納涼の名所として、また、諸国廻船発着の地として知られていた。五代將軍綱吉五十歳の賀を祝って架けられ、この名がついたといわれている。

新川1-20 ~ 江東区永代1-1

② 豊海橋

日本橋川の出口、隅田川に合流する地点に架かる。新川と箱崎町に分けるこの橋の周辺は倉庫が多い。それは江戸時代、諸国廻船がこの界限の船着場・土蔵に白帆を横づけしたことを物語っている。

日本橋箱崎町19 ~ 新川1-19

③ 茅場橋

橋名通り、この近くにはかや商人が多かったといわれている。芭蕉の弟子、宝井其角が「梅が香や隣は萩生惣右衛門」とよんだその其角旧跡は、橋から近い。

日本橋蛸殻町1-1 ~ 日本橋茅場町1-1

④ 鎧橋

鎧の渡と呼ばれる渡船場のあったところに架けられた橋である。明治5年にはじめて架けられ、橋の上を市電も走っていた。現在の橋は昭和32年に架けられたものである。長さ56.7m、幅19m。

日本橋小網町8 ~ 日本橋兜町1

⑤ 江戸橋

橋名の正確ないわれは定かではない。昭和通りに架けられており、車の従来は激しい。なお、この江戸橋近くに木更津漁師の拝借地があり、木更津、銚子方面への舟でにぎわったといわれている。

日本橋本町1-9 ~ 日本橋2-9

⑥ 日本橋

慶長8年(1603)、徳川家康によって架けられ、ここを起点として全国の道程が定められた。現在のルネッサンス式石橋は明治44年(1911)に架けられたもの。欄干には麒麟と獅子の像、そして青銅製の灯柱などがある。

日本橋室町1-7 ~ 日本橋1-1

⑦ 西河岸橋

日本橋の西にあたり、かつて船着き場と土蔵が多く並び、城辺河岸と呼ばれていた。橋名もそれにちなむといわれている。また、泉境花の名作「日本橋」の舞台として名高く、地蔵市は大変な人出だったという。

日本橋室町1-1 ~ 八重洲1-1

⑧ 一石橋

昔、この橋の北に金座の後藤屋敷が、そして、南に呉服の後藤邸があった。そこから、両方の後藤(五斗)をあわせて一石に、というのが名称の由来とされている。1600年代に架けられたが、現在の橋は昭和50年のものである。

日本橋本石町1-1 ~ 八重洲1-11

⑨ 旧常盤橋

長さ32.3m、幅11.4mの石造二連アーチ橋。この橋の歴史は古く、天正18年(1590)に架けられたといわれている。現在の橋は明治10年に架けられたもので、石造アーチ橋としては、現存する数少ない橋のひとつ。

日本橋本石町2-1 ~ 日本橋本石町3-1